

【2020 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
英語 I - 2		必修	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
井上 美奈子 他	B311	minoue	月・火曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>英語 I-1 に引き続き、英語 I-2 では医療福祉の専門家を目指す者にとって必要な英語力を身につけ実践で役に立つ「使える英語」の修得と英語コミュニケーション能力の更なる向上を目的とする。 <概要>同時双方向型授業を通し各ユニットの鍵となる語彙や表現、内容を講義し、発音やリスニング練習を行う。病気、怪我などの身体の不調、健康以外の悩みや諸問題、基本的な問診方法（病歴・家族歴・社会歴）がテーマとなる。また教員、受講生相互の応答で会話、ロールプレイの練習を行い、コミュニケーション能力を向上させる授業内容となっている。各ユニットのまとめとしてクイズ(Review question)を行いそれに対するフィードバック、質疑応答で理解を深める構成となっている。また ITC の活用で学習サイトが準備されているので学生はそれを自己学習に利用する。</p>				
学習上の助言	リスニング、会話練習、ロールプレイなど演習を中心とした内容になっているので積極的に参加し、英語重要表現や会話を身につけて欲しい。				
教科書	ENGLISH for Rehabilitation, Care & Support Part 1 2017年改訂版 出版：健康科学大学				
参考書	英和辞典、英英辞典				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	身体の不調や症状を英語で表現できる。			HSU(2)	
②	健康以外の諸問題（仕事、家族の悩みやその他問題）について英語で表現できる。			HSU(2)	
③	健康や諸問題に対して英語で簡単なアドバイスができる。			HSU(2)	
④	簡単な問診ができる。問診に答えることができる。			HSU(2)	
⑤	学習した内容に基づいて会話を作成し、口頭発表することができる。			HSU(2)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	Class orientation/English I-1 review クラスの概要を理解する。前期学習内容の復習をする。	同時双方向型授業	教科書を読んで予習をする。	0.5	
2	Unit 4 – Lesson 1 Health Problems and Symptoms 身体の不調（病気・怪我・症状）に関わる英語表現を学ぶ。	同時双方向型授業	身体の不調（病気・怪我・症状）に関わる英語表現復習する。クイズ勉強をする。	1	
3				1	
4	Review question 1 / Unit 4 – Lesson 2 Life Problems 生活や人生における悩み・問題に関わる英語表現を学ぶ。	同時双方向型授業	生活・人生に関する悩みや問題にかかわる表現を復習する。クイズ勉強をする。	1	
5				1	
6	Review question 2 / Unit 4 – Lesson 3 Giving and Receiving Advice 身体の不調、生活の悩みに対する相談、同情、アドバイスの求め方受け方を学ぶ。Presentation①準備 悩み・問題、アドバイスを中心とした会話を作成する。	同時双方向型授業	授業内容の復習をする。会話を作成し口頭発表できるよう準備する。クイズ勉強をする。	1	
7	Review question 3 / Presentation 1 発表 スクリプト提出	同時双方向型授業 課題発表	口頭発表の内容を復習する。教科書を読んで予習する。	1	
8	Unit 5 – Lesson 1 Medical History 病歴について簡単な問診ができるようになる。また、答え方も学ぶ。 11/9 Review question 4 Unit 5 – Lesson 2 Family History 家族歴について簡単な問診ができるようになる。また、答え方も学ぶ。 11/23 Review question 5 Unit 5 – Lesson 3 Social History 社会歴について簡単な問診ができるようになる。また、答え方も学ぶ。	同時双方向型授業	個人の病歴、家族歴、社会歴に関する問診の方法を復習する。クイズ勉強をする。	1	
9				1	
10				1	
11				1	
12				1	
13	Review question 6 / Presentation 2 準備 問診場面（病歴・家族歴・社会歴）を想定し会話を作成し、聞き役・答え役に分かれて発表する	同時双方向型授業 課題発表	問診の応答文を作成し口頭発表できるよう準備する。	1	
14	Presentation ② 発表 スクリプト提出 Reviews /Course Wrap-up ②~⑥、⑧~⑬の授業内容について復習プリントで確認して復習する。	同時双方向型授業	復習プリントで確認する	1.5	
15	Review session	同時双方向型授業	テスト準備に向けて総復習をする。	1	
試	期末試験				

【2020 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		82	0	18	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	82	0	0	0	0	82
	思考・推論・創造する力	0	0	9	0	0	9
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	9	0	0	9
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	各単元を終了した翌週に Review Question (確認問題集 計 6 回) を同時双方向型授業中に行い、理解度を評価する。学期末には、定期試験 (リスニング問題を含む筆記試験) を実施し、学期中に学習した内容全般について評価を行う。評価割合は総合評価の 82%にあたる。内訳は Review Question が 42%、学期末定期試験が 40%とする。				Review question の添削、模範解答と解説を配布
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	与えられた課題 (1 問題-アドバイス、2 問診) について会話文を作成する) を基に、その成果を同時双方向型授業で発表する。課題への取組み、発表内容およびプレゼンテーション能力を評価する。総合評価の割合は課題 1 が 8%(スクリプト 4% プレゼンテーション 4%)、課題 2 が 10%(スクリプト 5% プレゼンテーション 5%) 総計 18%とする。				課題スクリプトの添削とプレゼンテーションの評価
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>Teams を使った同時双方向型授業を行います。課題ダウンロード、CD リスニングなどを行いますので授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を奨励します。尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもあります。</p> <p>担当教員：井上美奈子 ジェイソン・スタージョン ジェイソン・スタージョン (C309) 電子メール：jsturjeon 井上、スタージョンが担当する複数の小グループに分かれて授業を行います。</p>							